

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	341	施策	健康づくりの推進
管理事業	保健推進事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	保健センター	事業名	健康情報管理システム事業
事業概要				
健康情報管理システム等管理				
活動実績				
【母子支援等タブレットシステム導入による拡充】 【新生児聴覚検診に伴う改修による拡充】 【新型コロナウイルスワクチン対応に伴う改修による拡充】		年度	令和2年度	評価の視点
母子保健・成人保健・予防接種等を管理する「健康情報管理システム」の開発・更新・保守を実施するほか、法改正対応等にかかるシステム改修を実施した。 (1)健康情報管理システム再構築業務 (2)健康情報管理システム改修(新生児聴覚検査対応) (3)健康情報管理システム改修(新型コロナウイルスワクチン対応)  ※母子支援等タブレットシステムについては、窓口での妊娠届の受付に導入予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、受付方法を郵送等に切り替えるなど、対面での手続き方法を見直すに当たり導入を中止した。		決算額(千円)	18,249	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		国が推進する情報システムの標準化に向けて、現行の業務プロセスの整理及び現行システムからの移行時期・方法等を検討していく必要がある。		拡充
				現行の業務プロセスを見直し、必要十分なシステム導入を目指す。

2	所管室課	保健センター	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業(保健センター)
事業概要				
千里ニュータウンプラザ施設管理				
活動実績				
千里ニュータウンプラザ内の保健センター南千里分館及び口腔ケアセンターの維持管理事業として、千里ニュータウンプラザ全体として負担する建物維持管理費用や光熱水費等にかかる分担部分の支出などを実施しました。 ・千里ニュータウンプラザに係るサービス購入料(設計・建設) 平成30年度…34,501,604円、令和元年度…33,981,679円、令和2年度…33,437,210円 ・千里ニュータウンプラザに係るサービス購入料(維持管理) 平成30年度…15,494,624円、令和元年度…15,712,512円、令和2年度…16,107,452円		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	51,928	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		保健センター南千里分館及び口腔ケアセンターが入る千里ニュータウンプラザの施設管理に係る諸費用を分担するものであり、母子保健事業及び歯科口腔保健事業の円滑な実施に必要な事業と考える。		継続

3	所管室課	保健センター	事業名	保健センター総務事業
事業概要				
保健センター総務				
活動実績				
保健センター南千里分館の施設管理事業として、同館における各種事業が円滑に推進できるよう、市民相談のための電話料金や各種賃借料の支出などを実施しました。		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	2,834	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		主に吹田市北部を対象に母子保健に係る各種事業を実施する保健センター南千里分館における事業諸経費を支出するものであり、母子保健事業の円滑な実施に必要な事業と考える。		継続

## 上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	341	施策	健康づくりの推進
管理事業	保健推進事業	所管部局	健康医療部

4	所管室課	保健センター	事業名	保健推進事業
事業概要				
健康教育・相談、すいた健康サポーター、健康情報拠点推進、口腔ケアセンター運営				
活動実績				
(1)市民の健康の保持・増進を図るため、市民の自主的な健康づくりを推進することを旨として、以下のような事業を実施しました。 ア 健康に関する知識の普及・啓発を目的とした健康教室・健康相談の実施 イ 自らの健康づくり・地域活動等での予防啓発推進のための「すいた健康サポーター」の養成 上記ア、イについては、新型コロナウイルス感染症にの流行により、多くの市民が集うイベントや、新規のサポーターの養成講座等は実施できませんでした。 ウ 様々な市民が健康情報を得ることができるよう、市民が生活において頻繁に利用する施設等での健康情報の発信		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	8,700	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充 口腔ケアセンターの機能について、地域での情報発信等の機能の強化が必要。
		一般財源の比率（%）	99.1	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
(2)歯科口腔保健の活動推進の拠点である吹田市口腔ケアセンターの管理運営、歯科口腔保健に関する情報の発信や展示を行う吹田市口腔ケア活動推進業務、及び生後4か月から概ね1歳までの乳幼児とその保護者を対象に、赤ちゃんの歯の広場業務を実施しました。		健康寿命の延伸に向け、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むために必要な情報提供や、禁煙等健康づくりを促すための事業で、継続して実施する必要がある。また、健康に無関心な層への今後の働きかけも必要である。		
(3)たばこ対策の総合的な推進のため、平成29年5月から禁煙治療費一部助成制度を創設し、禁煙治療に要した治療費の一部を助成することで、個人が行う禁煙への取組を支援しました。				

5	所管室課	健康まちづくり室	事業名	健康づくり活動推進事業
事業概要				
健康づくり活動推進				
活動実績				
【運動・栄養・休養のバランスのとれた事業実施による拡充】 市民一人ひとりの自主的な健康づくりを支援するため、(公財)吹田市健康づくり推進事業団が実施する事業に対し、補助金を交付した。		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	28,444	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率（%）	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
・実施事業 みんなの健康展、情報誌「健康すいた」の発行及び全戸配布、レディース健康フェスティバル、吹田市健康づくりフェスティバル(てくてくウォーク&ノルディック講習会、スポーツフェスティバル、2020チャレンジDAY) ※以下、令和2年度拡充分 休養に関する健康講座、ロコモティブシンドローム予防教室、イオン店舗における健康な食生活応援事業、循環器病予防市民のつどい		・スポーツを中心とした事業体系から、日常生活の中で自然と健康になれるよう、「運動・栄養・休養」のバランスのとれた事業体系へと改善を図った。 ・令和2年度までの2年間、市職員の派遣により組織の企画調整力の向上を図ってきたところであり、今後は組織内での伝承等、定着を図る必要がある。		

6	所管室課	健康まちづくり室	事業名	保健推進事業
事業概要				
「健康すいた21推進」、食育推進、たばこ対策推進、健康づくり支援、地域職域連携推進、国民健康・栄養調査、特定給食施設等指導				
活動実績				
【地域職域推進業務による拡充】 【国民健康・栄養調査の実施による拡充】 【特定給食施設に関する業務による拡充】		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	1,229,602	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 ■ 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率（%）	60.9	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
(1)食育推進 健康の保持増進及び生活習慣病の予防に向け、食に関する意識の向上や健全な食生活の実践をめざして、講演会を実施した。 平成30年度・・・152人、令和元年度・・・100人、令和2年度・・・36人 (2)たばこ対策推進 「スモークフリーシティ(たばこの煙のない)・すいた」の実現をめざす取組の一環として、たばこの害や禁煙に関する普及啓発のため、ポスター、チラシの作成や講演会等を実施した。 令和元年度・・・ちらし・ポスター(受動喫煙防止・禁煙)作成 令和2年度・・・ちらし(居住空間の受動喫煙防止)、ポスター(スモークフリー推進)作成 講演会(新型たばこ、禁煙について)開催		・栄養や食生活に関する正しい知識の普及・啓発を行うため、講演会等を実施しているが、高齢者の参加が多い傾向がある。健康への関心が低い若年層へのアプローチを強化するため、SNS等を含めた情報発信を行っていく。 ・「スモークフリーシティ・すいた」の実現をめざして、庁内横断的に取組を進めているが、法規制の対象外である屋外での喫煙行為などへの対応が課題となっているため、喫煙者の行動変容を促す取組について、検討する必要がある。		

## 上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名